

三笠フーズ事件と 食の安全上の脆弱性 ～食品流通の光と陰 (2)～

荒木一視 (山口大学)

国土地理協会 平成21年度学術研究助成

「食の安全上の脆弱性に注目した今日の米と米加工品の流通に関する経済地理学的研究」

目的

- 今日の食料供給体系のもつ食の安全上の問題点を具体的に明らかにする。
- その際、三笠フーズによる事故米の不正転売事件を事例とする。

方法

- わが国の米及び米加工品の流通実態の
解明（農水省発表資料による事故米の
流通経路）
- 食の安全上の問題点の検討（農水省が
転売先として公表した業者リストをも
とにしたアンケート調査による）

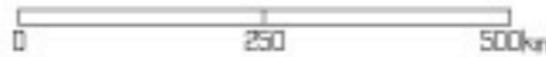
三笠フーズ事件 (研究事例)

- 三笠フーズによる事故米不正転売事件
- 2008年9月に発覚
- 非食用に限定された事故米を非食用と
いうことを隠して転売

経緯

- 2008.8.28 農水省が事故米穀を三笠フーズに売却（非食用として）
- 近畿農政局・九州農政局の立ち入り調査 → 2008.9.5 自主回収指示を公表
- 農水省による転売先の調査 → 2008.9.16 転売先375業者を公表（最終的には393業者を公表）

カビ毒（アフラトキシン）



中国・ベトナム・米国産

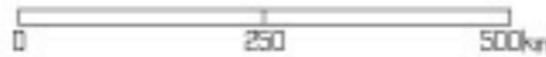
うるち米9.5t

うち市場流通2.8t

同社九州工場★ ★ 三笠フーズ本社

A map of Japan showing the four main islands. Two red stars are placed on the map: one in the Kyushu region and one in the Tohoku region. The text '同社九州工場★ ★ 三笠フーズ本社' is overlaid on the map, with the stars corresponding to the locations of the factory and the head office.

カビ毒（アフラトキシン）



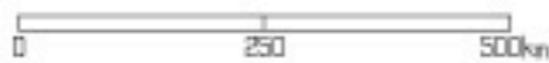
中国・ベトナム・米国産

うるち米9.5t

うち市場流通2.8t

同社九州工場★◎肥料会社★三笠フーズ本社
◎米穀仲介

カビ毒（アフラトキシン）



中国・ベトナム・米国産

うるち米9.5t

うち市場流通2.8t

同社九州工場★◎肥料会社◎三笠フーズ本社

◎◎米穀仲介

酒造

残留農薬（アセタミプリド）

0 250 500km

ベトナム産うるち米598t

うち市場流通447t



残留農薬（アセタミプリド）

0 250 500km

ベトナム産うるち米598t

うち市場流通447t



残留農薬（アセタミプリド）

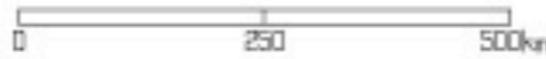
0 250 500km

ベトナム産うるち米598t

うち市場流通447t



残留農薬（メタミドホス）

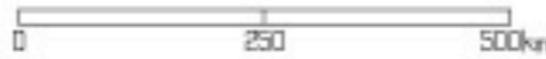


中国産もち米800t

うち市場流通123t



残留農薬（メタミドホス）



中国産もち米800t

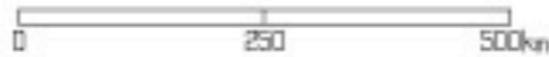
うち市場流通123t

50社の中間流通業者へ

米穀販売21,米穀仲介7,米穀加工8,食材卸15



残留農薬（メタミドホス）

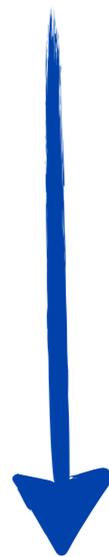


中国産もち米800t

うち市場流通123t

50社の中間流通業者へ

米穀販売21,米穀仲介7,米穀加工8,食材卸15



318社の製造販売業者へ

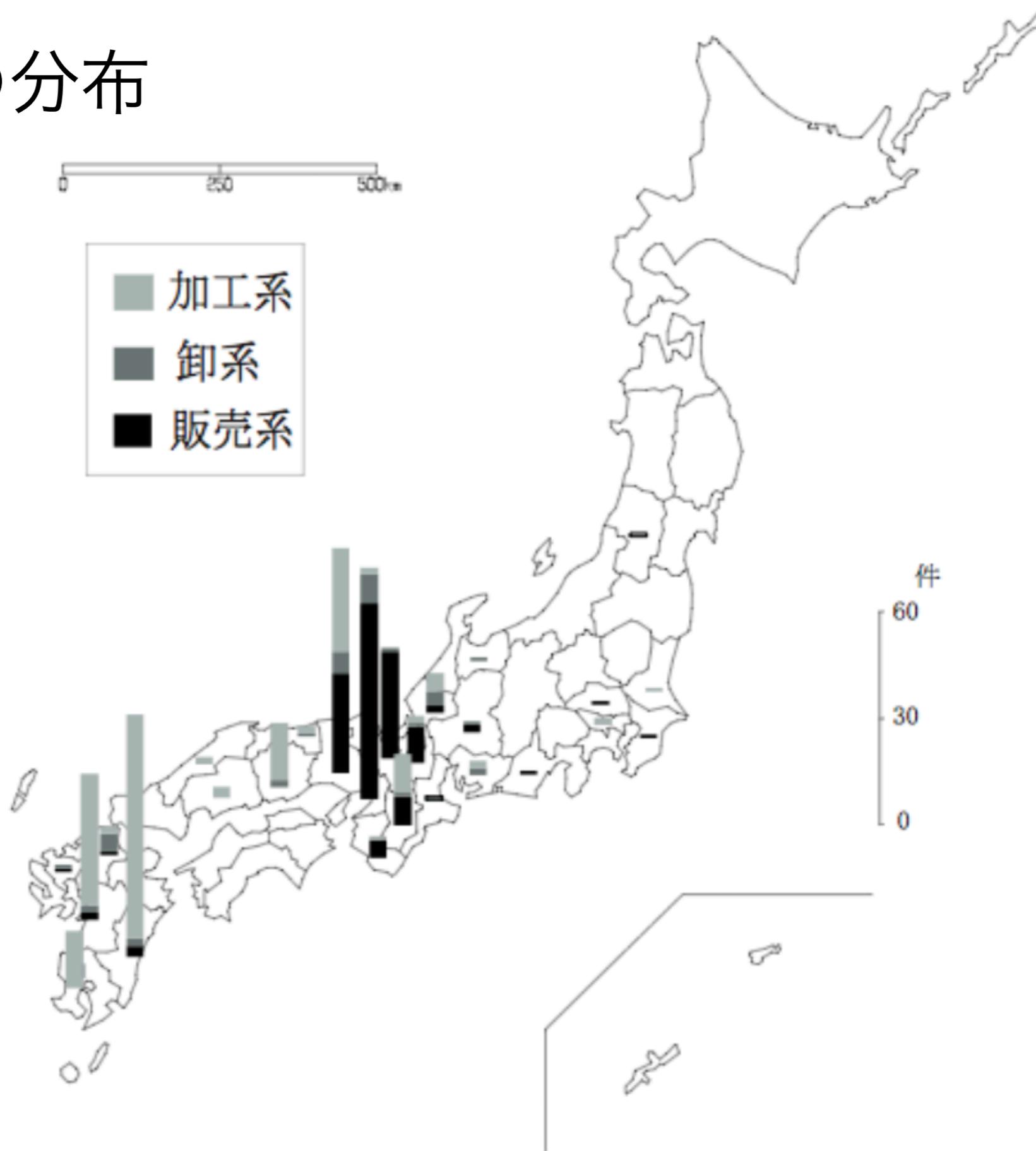
和菓子製造159,米菓製造32,給食117 (1),外食9,米穀販売1



3ルート

- **カビ毒**（アフラトキシン） 2.8t→中間流通2社→製造販売3社(平均約1 t)
- **残留農薬**（アセタミプリド） 447t→中間流通3社→製造販売9社 (平均約50 t)
- **残留農薬**（メタミドホス） 123t→中間流通51社 製造販売318社 (平均約400kg)

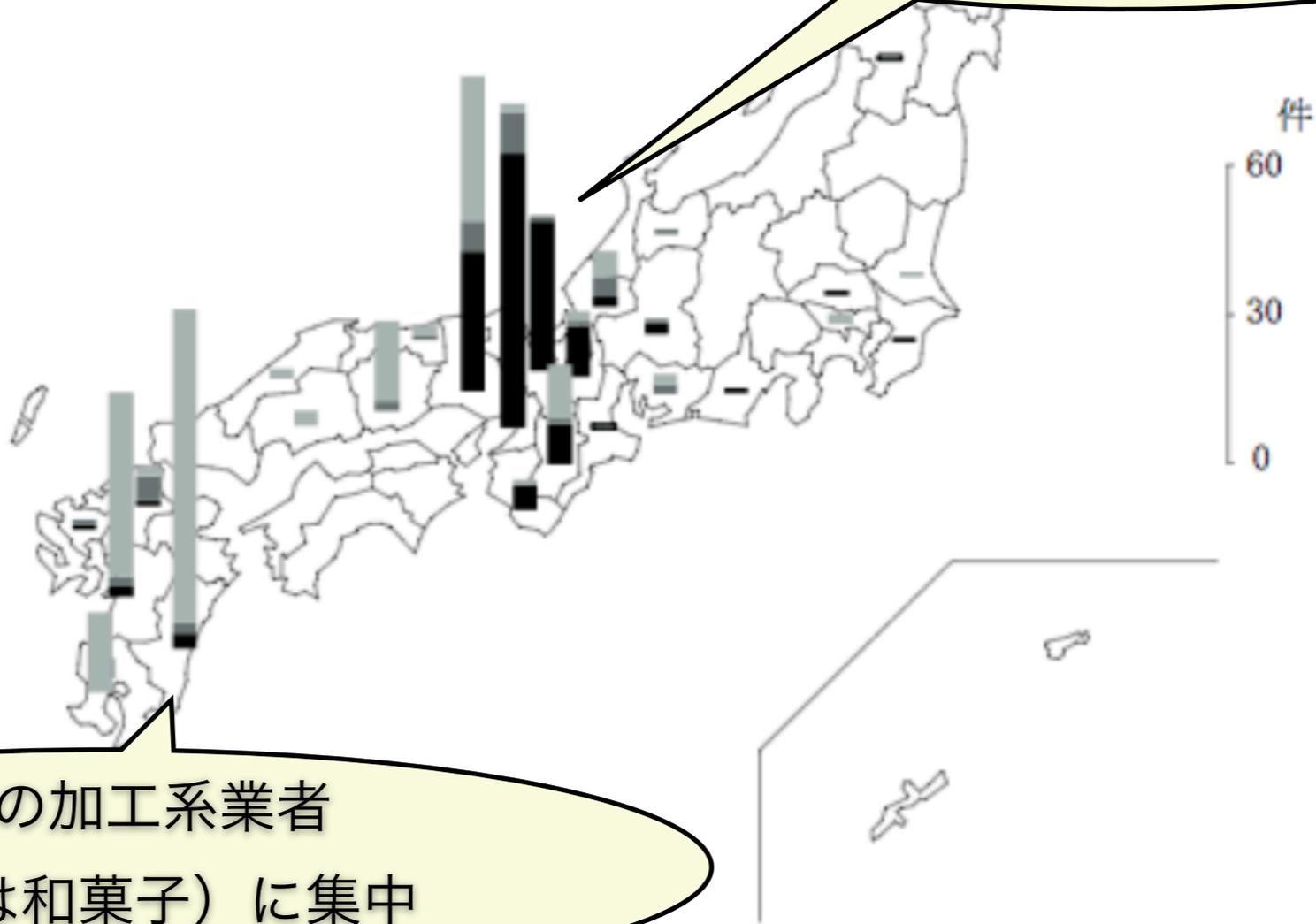
公表業者の分布



公表業者の分布

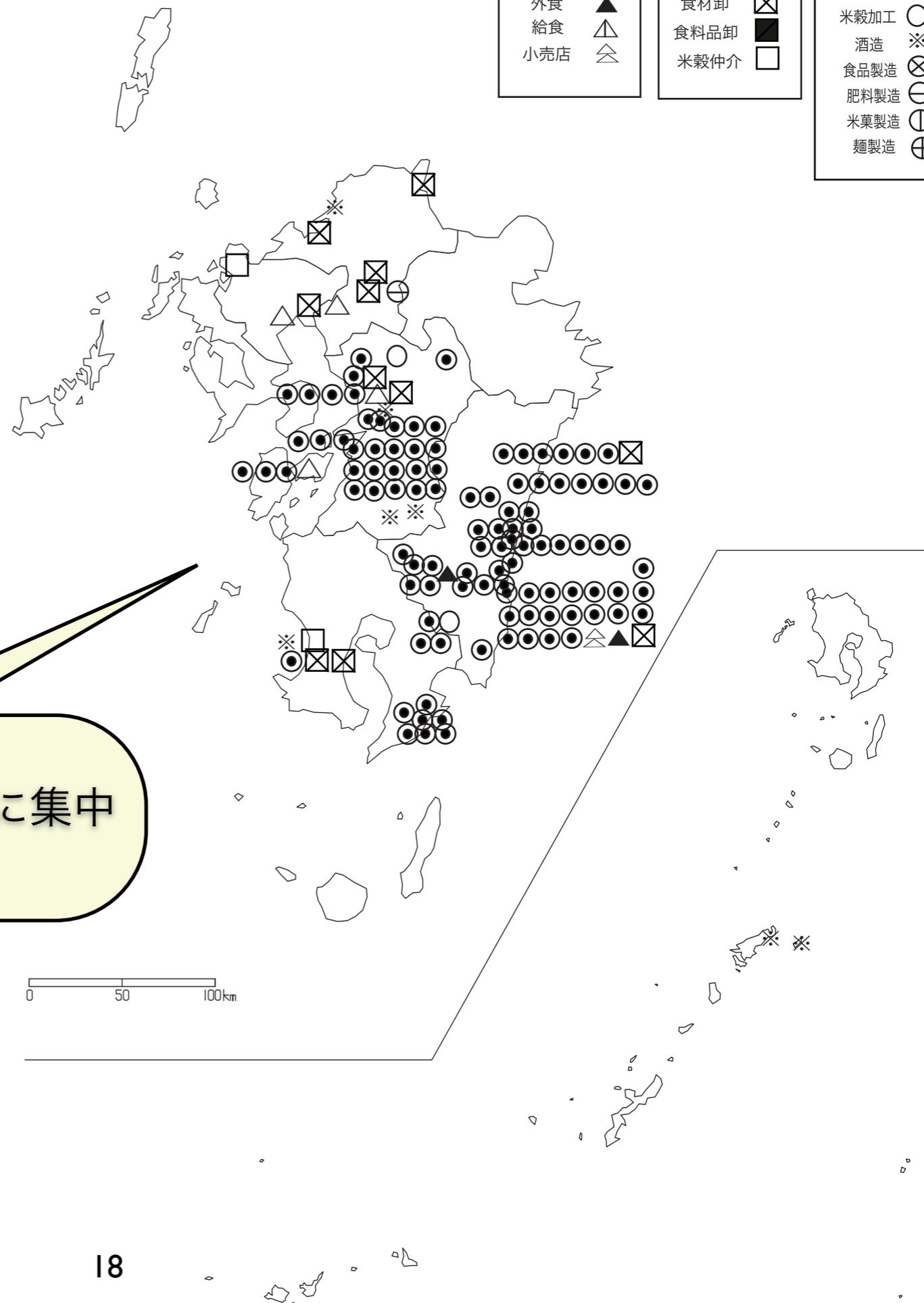
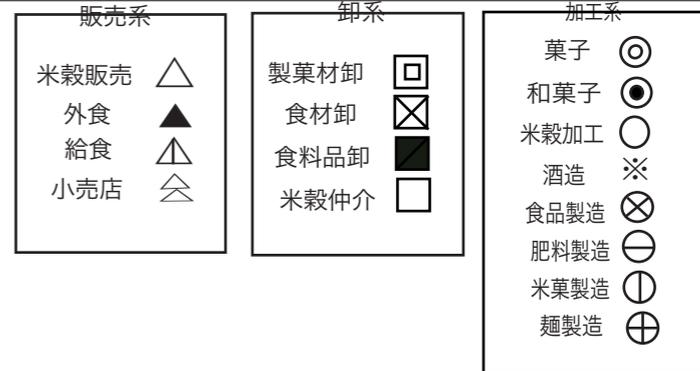


近畿の販売系業者に集中，しかしその大部分は同一企業(給食会社)の各事業所



九州の加工系業者 (多くは和菓子) に集中

公表業者の分布



九州の加工系業者（多くは和菓子）に集中

公表された業者への アンケート

- 業者リストの393社（市町村名，業者名，業種が公表）
- > 電話帳，ウェブサイトなどから連絡先を検索・・・266業者の所在地を確認
- >> 266業者にアンケート依頼（2009/11 郵送）
- >>> 52業者から回答

アンケート結果

- 業種別内訳
- 従業員数
- 販売先
- 米割合・取扱量
- 売上の減少と回復に要した期間
- その他の被害

業種別内訳

業種	アンケート	業者リスト
菓子製造	36 69.2	177 65.3
酒造	2 3.8	10 3.7
食品卸	6 11.5	39 14.4
米穀販売	4 7.7	20 7.4
給食	1 1.9	1 0.4
その他	3 5.8	24 8.9
計	52 100.0	271 100.0

注：左はアンケート

右は業者リスト(9/22)

上段は件数, 下段は%

業種別内訳

業種	アンケート	業者リスト
菓子製造	36 69.2	177 65.3
酒造	2 3.8	10 3.7
食品卸	6 11.5	39 14.4
米穀販売	4 7.7	20 7.4
給食	1 1.9	1 0.4
その他	3 5.8	24 8.9
計	52 100.0	271 100.0

注：左はアンケート

右は業者リスト(9/22)

上段は件数, 下段は%

> ほぼ全体の構成比と同じ

従業員数

100人以上	2
50人以上100人未満	3
50人未満	1
40人未満	3
30人未満	4
20人未満	9
10人未満	28
無回答	2

従業員数

100人以上	2
50人以上100人未満	3
50人未満	1
40人未満	3
30人未満	4
20人未満	9
10人未満	28
無回答	2

> 小規模の業者が多い。

とくに10人未満の28件中24件が菓子（和菓子）製造・小売であった。逆に100人以上の業者は給食1件と酒造1件であった。

商品の販売先

主に自市町村やその周辺

34

主に都府県内

4

主に都府県外

6

県内外

6

無回答

2

25

商品の販売先

主に自市町村やその周辺

34

主に都府県内

4

主に都府県外

6

県内外

6

無回答

2

>多くの業者が極めてローカルなスケールでの商取引を行っていた。県外に主要な販路を持っているのは10社程度。

米の使用割合・使用量

100%	4	一日あたり10t以上	4	1年あたり1000t以上	3
75%以上	5	同1t以上	0	同100t以上	1
50%以上	7	同100kg以上	3	同10t以上	1
25%以上	4	同10kg以上	8	同1t以上	1
10%以上	15	同10kg未満	5	同100kg以上	4
10%未満	15			同100kg未満	6
無回答	2			無回答など	13

米の使用割合・使用量

100%	4	一日あたり10t以上	4	1年あたり1000t以上	3
75%以上	5	同1t以上	0	同100t以上	1
50%以上	7	同100kg以上	3	同10t以上	1
25%以上	4	同10kg以上	8	同1t以上	1
10%以上	15	同10kg未満	5	同100kg以上	4
10%未満	15			同100kg未満	6
無回答	2			無回答など	13

＞使用量の多い業者も存在するが多くは米の使用量も使用割合も小さい。

売上の減少と回復に要した期間

8～9割	6	1ヶ月以内	3
6～7割	11	3ヶ月以内	1
4～5割	11	6ヶ月以内	8
2～3割以下	11	9ヶ月以内	3
落ち込んでいない	8	1年以内	4
無回答など	5	現状でもまだ回復しない	26
		無回答	7

売上の減少と回復に要した期間

8~9割	6	1ヶ月以内	3
6~7割	11	3ヶ月以内	1
4~5割	11	6ヶ月以内	8
2~3割以下	11	9ヶ月以内	3
落ち込んでいない	8	1年以内	4
無回答など	5	現状でもまだ回復しない	26
		無回答	7

> 4業者は全て従業員10人以下の和菓子業者

> 26業者中16業者は従業員10人以下の零細業者

> 多くの業者に与えたダメージは決して小さくはない。

その他の被害

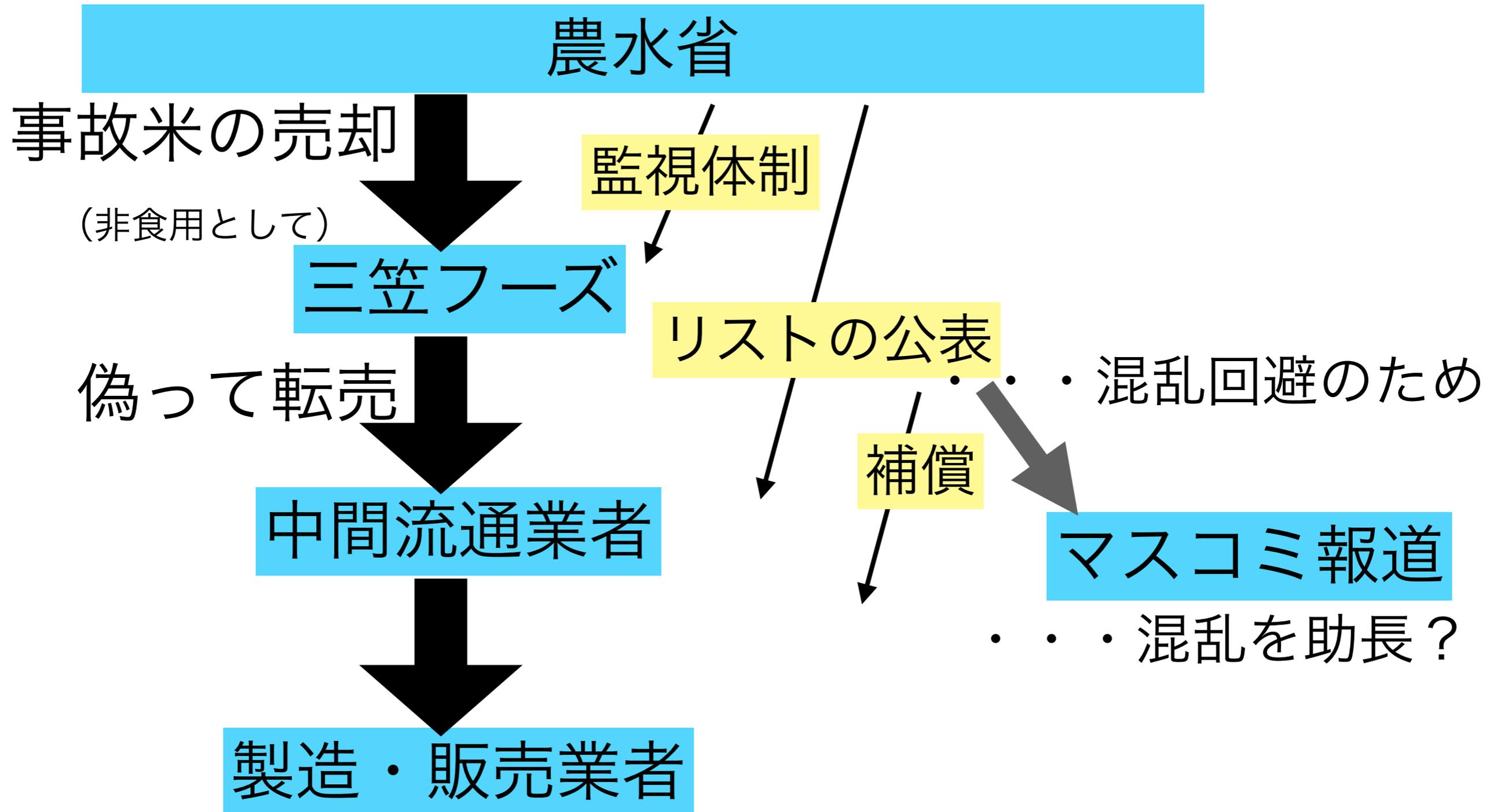
(売上減以外)

- 信用の失墜
- 中傷被害
- 取引のキャンセル・指定業者から外される
- マスコミの取材・報道のあり方

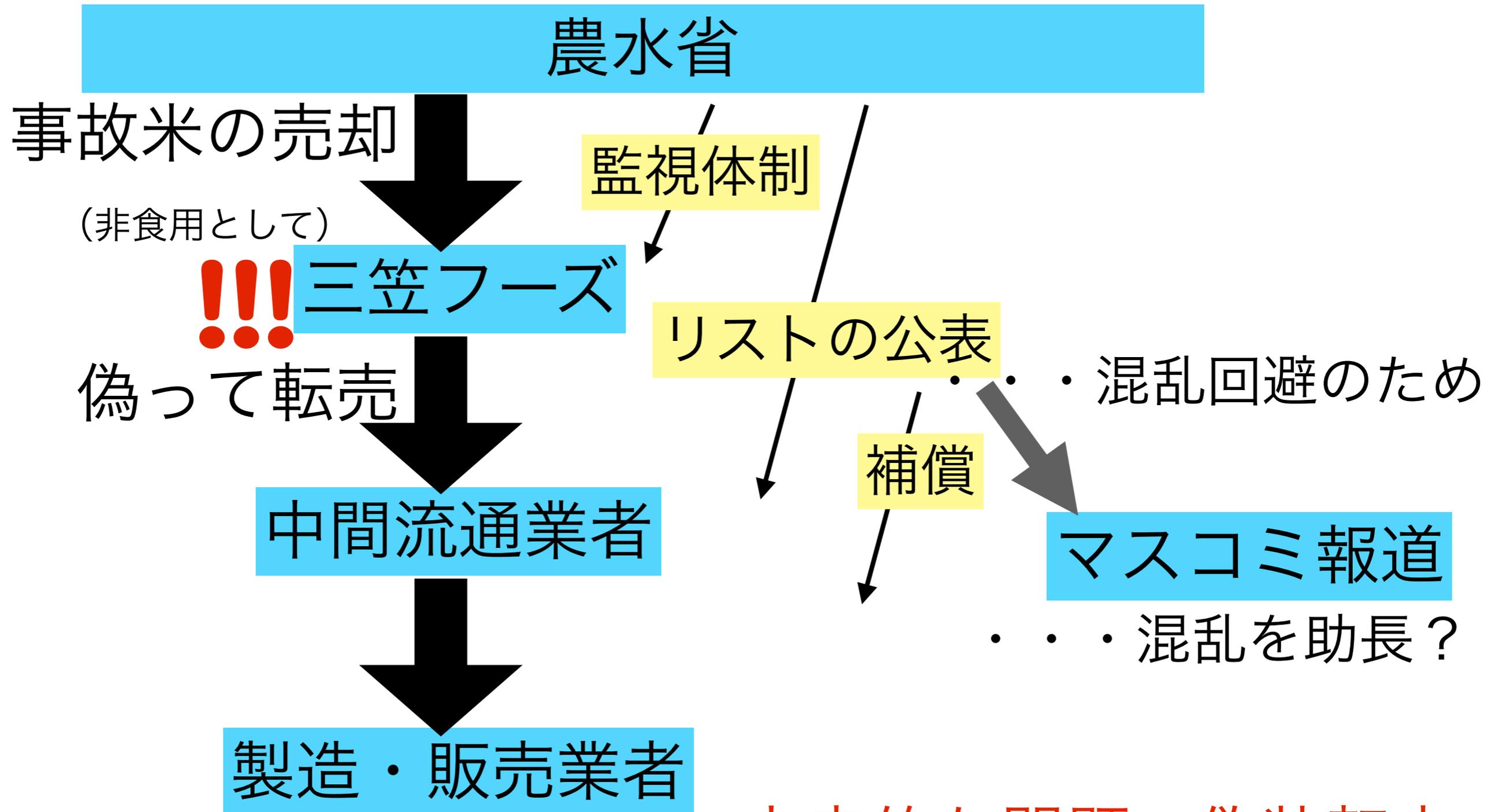
まとめ

- 食の安全上の課題；和菓子のような少量の使用で、多くの業者がかかわる場合、被害の裾野は広範に広がり、少量の添加にかかわらず全ての製品がダメージを受ける。
- 情報公開のあり方と補償問題

まとめ：食の安全上の問題点

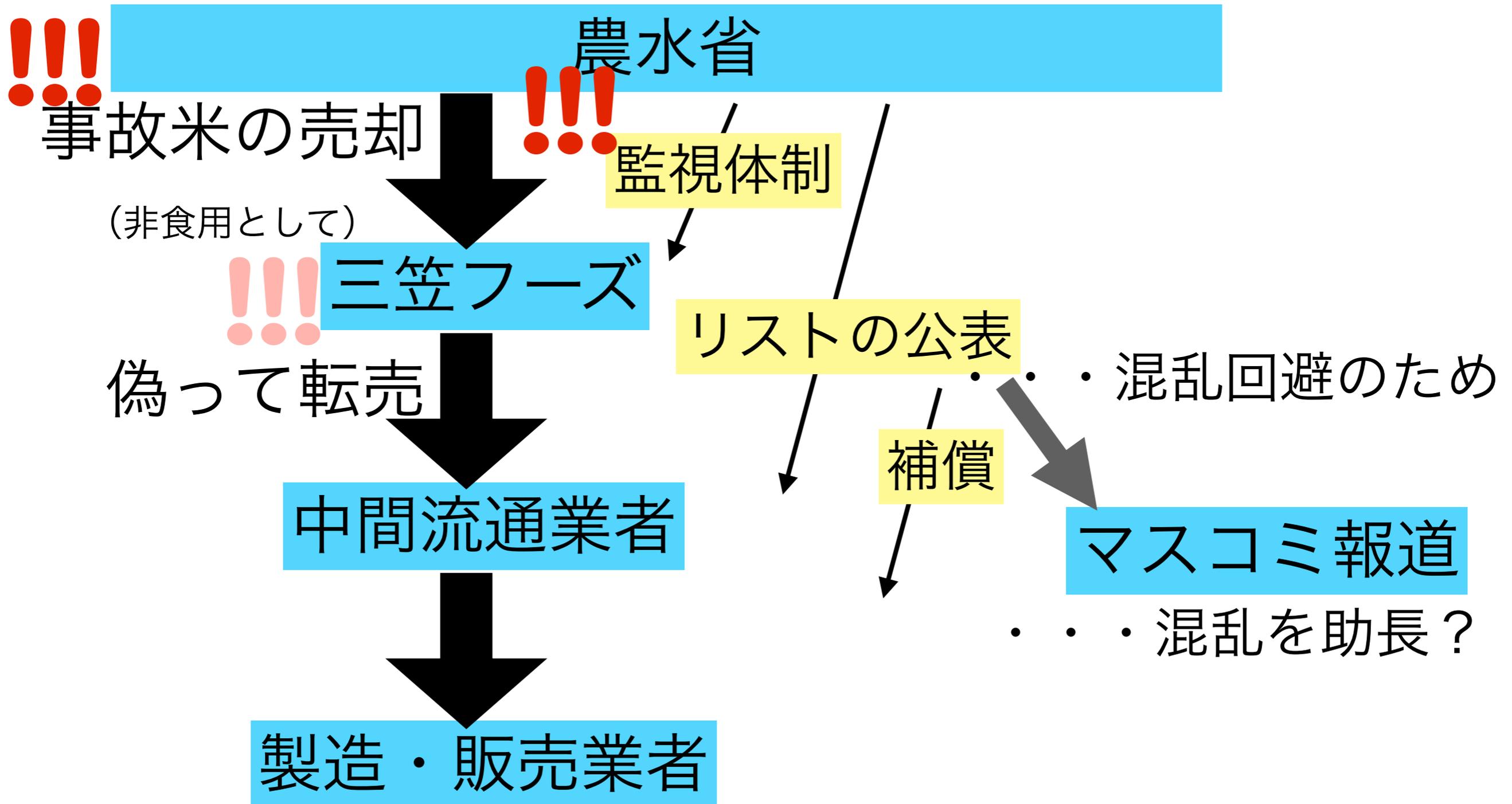


まとめ：食の安全上の問題点



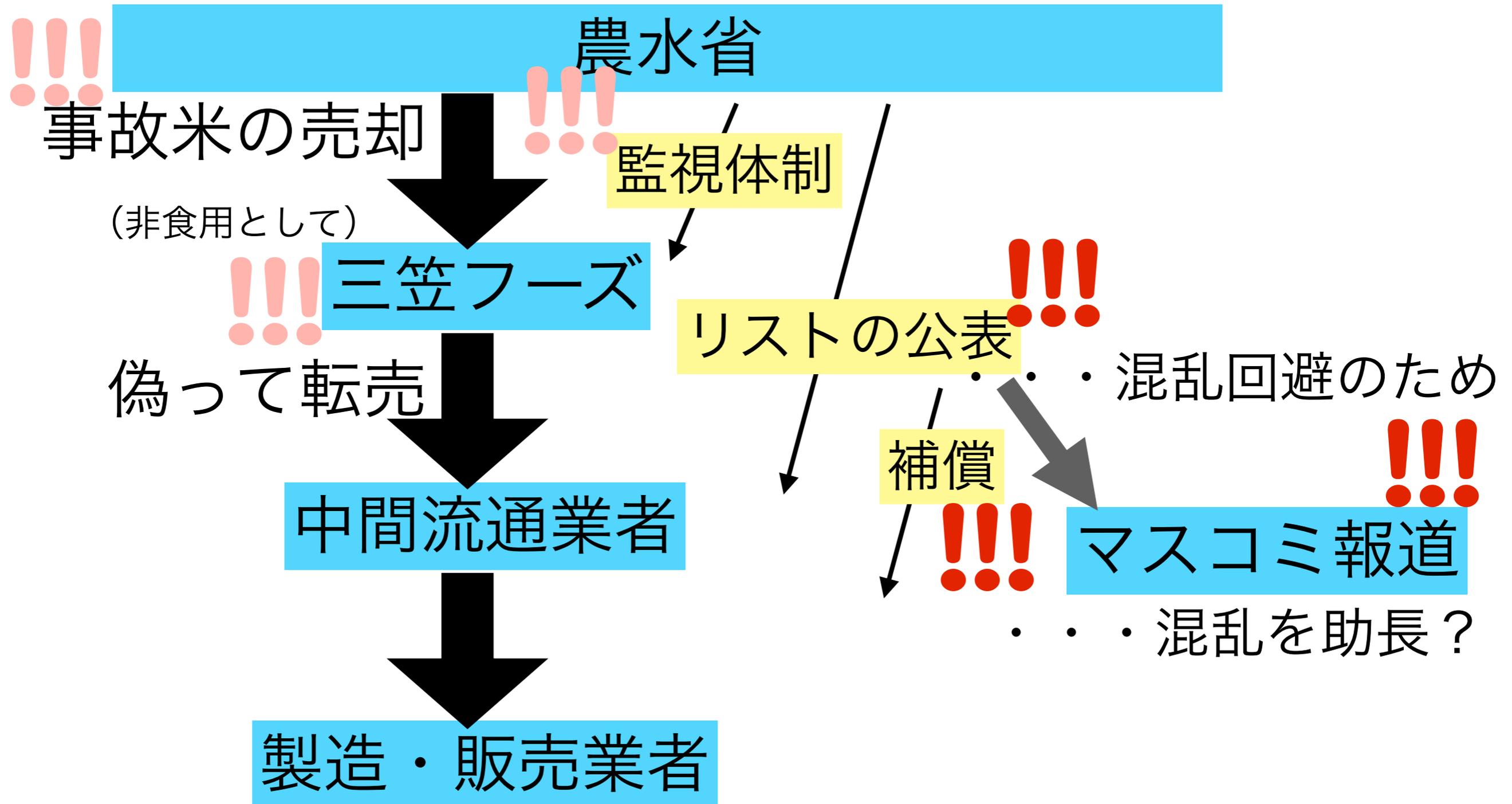
本来的な問題：偽装転売

まとめ：食の安全上の問題点



農水省の施策, 管理の問題

まとめ：食の安全上の問題点



リスト公表にかかわる問題